

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	株式会社イノマス様共同住宅新築工事	階数	地上6F
建設地	神奈川県相模原市中央区矢部四丁目107番4の一部、107番5、107番6	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域、準防火地域	平均居住人員	98人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,640時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年2月 予定	評価の実施日	2019年8月22日
敷地面積	3,181㎡	作成者	大東建託(株)相模原支店一級建築士事務所
建築面積	954㎡	確認日	2019年8月28日
延床面積	3,964㎡	確認者	大東建託(株)相模原支店一級建築士事務所

外観/パース等  
図を貼り付けるときは  
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO <sub>2</sub> (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p><b>BEE = 1.1</b></p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B: ★★ C: ★</p>	<p>30% ☆☆☆☆ 60% ☆☆☆ 80% ☆☆☆ 100% ☆☆ 100%超 ☆</p> <p>標準計算</p> <p>①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p><b>Q 環境品質</b> Qのスコア = 2.8</p>		
<p><b>Q1 室内環境</b> Q1のスコア = 2.9</p>	<p><b>Q2 サービス性能</b> Q2のスコア = 2.7</p>	<p><b>Q3 室外環境(敷地内)</b> Q3のスコア = 2.7</p>
<p><b>LR 環境負荷低減性</b> LRのスコア = 3.4</p>		
<p><b>LR1 エネルギー</b> LR1のスコア = 4.2</p>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b> LR2のスコア = 2.8</p>	<p><b>LR3 敷地外環境</b> LR3のスコア = 3.0</p>

3 設計上の配慮事項		
<p><b>総合</b></p> <p>潜熱回収型給湯器やLED照明など高効率設備機器の導入により、一次エネルギー消費量の低減に努めた設計とした</p>		<p><b>その他</b></p> <p>0</p>
<p><b>Q1 室内環境</b></p> <p>断熱材等性能等級4相当</p>	<p><b>Q2 サービス性能</b></p> <p>更新間隔の長い建材を使用し、建物の維持管理に配慮した設計とした</p>	<p><b>Q3 室外環境(敷地内)</b></p> <p>0</p>
<p><b>LR1 エネルギー</b></p> <p>断熱材等性能等級4相当、BEI=0.82</p>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b></p> <p>躯体+軽鉄+仕上材のデパイルを採用した</p>	<p><b>LR3 敷地外環境</b></p> <p>LCCO<sub>2</sub>排出率=92%</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される